

# 奨学金制度のご案内

入校料と授業料相当額を  
無利息貸与！さらに…

修了後1年以内に江津市内に就職し、  
一定期間(※)引き続いて江津市内で  
就業した場合は…

この制度は「江津市実践技術者育成資金貸与」  
制度といい、江津市内で働く若者を増やすことを  
目的として、創設されました。

**全額返還免除！**

## 奨学金貸与の金額

1年次は、入校料と授業料に相当する額(60万円以内)

2年次は、授業料に相当する額(39万円以内)

## 奨学金貸与対象者(ポリテクカレッジ島根から推薦された者)

推薦の条件は、下記の1～3すべての項目を満たす学生です。

1. ポリテクカレッジ島根に在籍するものであって成績優秀な者
2. ポリテクカレッジ島根を修了した日から1年以内に、江津市内において  
就業をする意思を有する者
3. 在学中、江津市が実施・支援するボランティア事業に対し、積極的に  
参加する意思を有する者

## 返還免除該当者

ポリテクカレッジ島根を修了後1年以内に江津市内に就職し、**一定期間**(※)引き続いて  
**江津市内で就業した場合**

※

一  
定  
期  
間  
と  
は

1年次分の奨学金のみ借りた場合

2年6カ月間

2年次分の奨学金のみ借りた場合

2年6カ月間

1年次分と2年次分の奨学金を借りた場合

5年間

お問合せ先

江津市 商工観光課

☎0855-52-7494 ホームページ: <http://www.city.gotsu.lg.jp/>

島根職業能力開発短期大学校(ポリテクカレッジ島根) 学務援助課 学務係

☎0855-53-4567 ホームページ: <http://www3.jeed.go.jp/shimane/college/>

## 奨学金制度を活用して企業で活躍している方のご紹介



2016年度 生産技術科 卒

寺前 翔さん

### トップ金属工業株式会社(江津市)

同社は国内で数少ない自動車用の大型金型を主力とし、バックドア、フード、ルーフなどのプレス金型を設計、製作をしている会社です。

トップ金属工業株式会社にお勤めの寺前さんにお話を伺いました。



#### 【奨学金制度を利用したきっかけや現在のお仕事について】

私は短期大学進学まで親に迷惑を掛けていたので、少しでも親の負担を減らしたいと思い奨学金制度を利用しました。私はもともと地元である江津市での就職を考えており、先生から奨学金制度について教えてもらいました。奨学金制度を利用したことで、在学中はアルバイトに時間を取られすぎず、学業に専念することができました。

現在入社7年目になりますが、就職して2、3年目は仕事が辛く辞めたいと思う時期も正直ありましたが、5年間は働こうと決めて乗り越えることができました。現在は金型の仕上げから出荷までの工程を担当しています。研磨や溶接など手作業での加工など一人で任せてもらえる作業が増え、やりがいを感じています。プライベートでは、実家暮らしなので貯金もでき、趣味の旅行を定期的楽しんでます。初夏には北海道に行く予定です。

#### 【後輩へのメッセージ】

江津市での就職を少しでも考えているなら、絶対に損しない制度なので、是非、奨学金制度の利用を検討することをお勧めします。



社長の林田様にお話を伺いました。

#### 【ポリテクカレッジ島根の卒業生を採用して】

江津市へ工場進出して以来、卒業生が技術・製造・検査の管理者やスタッフとして活躍してくれています。寺前君も更なる成長を期待している主力スタッフです。ポリテクカレッジ島根は革新機器の扱いや先進技術が習得できる教育用設備が国の機関ならではの、モノ造り業界が求める企業を支える優秀な若年労働力の創出に寄与されていると感じています。当社としましては寺前君が習得した技術や技能を活かし、活躍できる場の提供に努めたいと考えています。

#### 【江津市奨学金制度の利用促進について】

江津市が設立された奨学金制度は、まだ周知が足りていないと感じています。ポリテクカレッジ島根の学生さんには高度な教育を、経費を掛けずに授かれる機会を活用されて、地域産業を支える人材になって欲しいと考えます。市内小中学校の先生方や、地域活性化を考えて居られる市議、県の行政担当の皆様にも知って頂きたい制度です。今後、県助成も組込まれば、大学進学時の県外流出抑制と教育に掛かる経済的負担の軽減にも繋がるはずです。

#### 【高校生へのメッセージ】

江津市には江津工業高校とポリテクカレッジ島根があり、モノ造り産業を支える若者を育てる教育機関が充実しています。地元企業は両校の卒業生を求めています。職場で活かせる技術や技能、創造力や課題解決能力を養って、社会で活躍できるようになって欲しいと思っています。その為の教育を「身近なところで授かれる」ということを考えてみてください。加えて、県西部にポリテクカレッジ島根と言う短大がある事を、県東部で育つ中高生にも知って頂きたいです。ポリテクカレッジ島根が、なぜ出雲市や安来市では無く、江津市にあるのでしょうか？私は国からの地域への贈り物で、活かされる事で県東西の格差が薄れるように思えます。

